

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について（中学校） 綾瀬市教育委員会

1 調査について

令和7年度全国学力・学習状況調査が、令和7年4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象とした悉皆調査として、教科に関する調査（国語、数学、理科）と質問調査を実施したことを受け、この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとし、今後はこの分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

2 教科に関する調査の平均正答率と平均正答数（理科は平均IRTスコア）

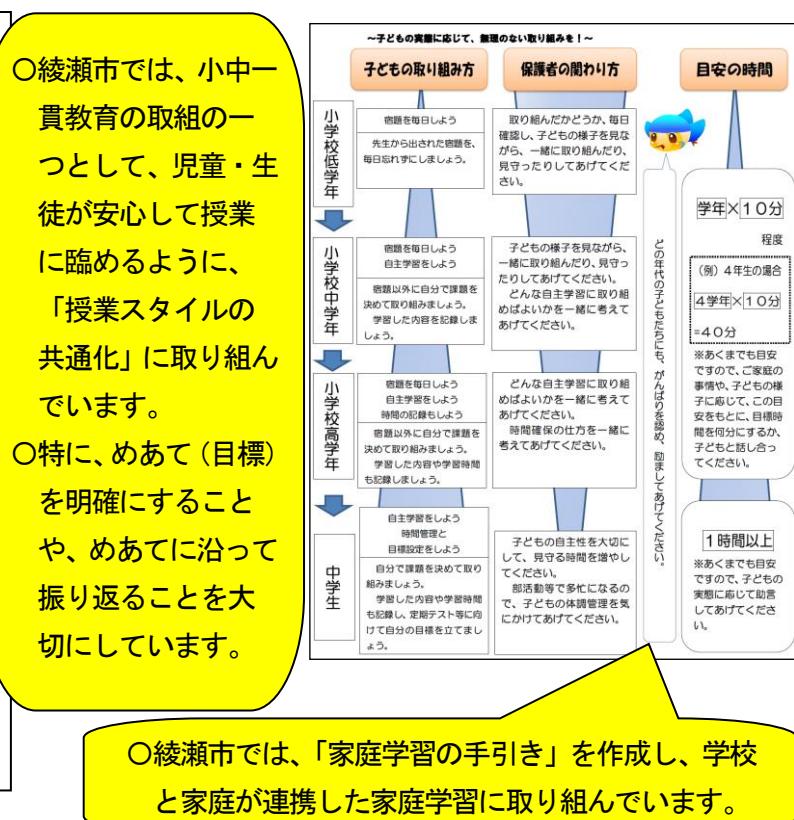
中学校		国語	数学	理科	
綾瀬市	正答率	51%	45%	平均 IRT スコア	494
	正答数	7.1／14問	6.8／15問		
全国 (公立)	正答率	54.3%	48.3%	スコア	503
	正答数	7.6／14問	7.2／15問		



「中学校理科」IRTを用いた結果返却について
(文部科学省HPより)

3 確かな学力の向上に向けて

- 綾瀬市型小中一貫教育に取り組み、9年間を見通した系統的な学びを実践しており、確かな学力の向上を図るために、「授業での振り返り」と「家庭学習の習慣化」を推進しています。
- 「あやせ学びづくり運動」「あやせ家庭読書・ふれあいの日～あやせゼロの日運動～」や、あやせコミュニティ・スクール等を通して、家庭・地域との連携を深め、家庭学習の習慣化を推進していきます。
- 少人数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制に努めます。
- 「学習支援者」の配置により配慮の必要な生徒への学習支援を行います。
- よむYOMUワークシート（第1学年で実施）等の取組により、読解力の向上に努めます。
- 読書の充実を図るために、学校司書の配置、学校図書館の充実等の読書環境の整備に努めます。
- 授業支援ソフトやAIドリル等、タブレット端末を効果的に活用した授業改善に努めます。





国語問題

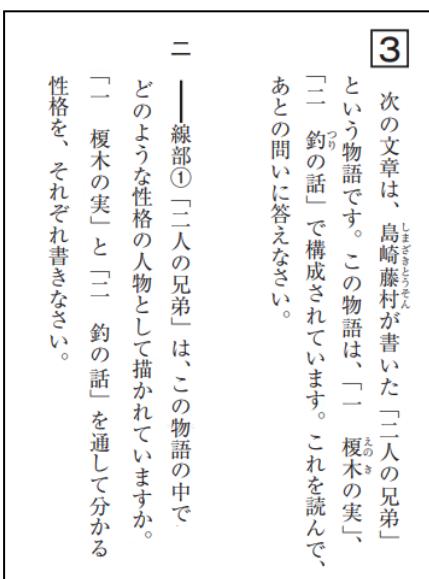
国語正答例

- 全 14 問中、正答率が 75%を上回ったのは 1 問（3二）で、区分は「C 読むこと」、問題形式は「短答式」です。
- 全 14 問中、全国と比較して無解答率が上回ったのは 8 問です。

正答率が最も高かった問題

問題番号 : 3二

出題の趣旨：文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

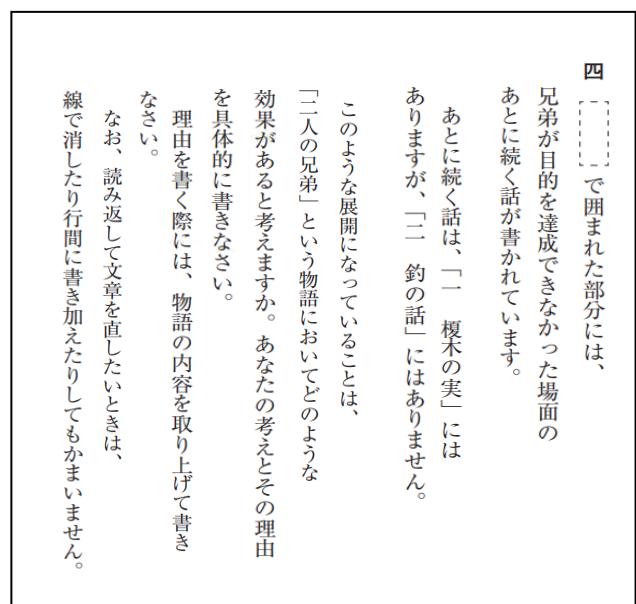


正答例：兄 気が長い、弟 気が短い

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	89.1%	89.9%	-0.8
無解答率	3.9%	4.0%	-0.1

問題番号 : 3四

出題の趣旨：文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを見る。



正答例：読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 檜木の実」には、失敗した兄弟が、おじいさんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	12.1%	17.1%	-5.0
無解答率	23.7%	28.1%	-4.4

【指導の改善に向けて】 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える

- 文学的な文章の構成や展開について考えるためには、作品の場面を捉えてその構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握することが求められる。その際、文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることが重要である。

例えば、あの展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動が考えられる。その際、文章の構成や展開の効果を考えることの意義を生徒が実感できるようにすることが大切である。



数学問題



数学正答例

- 全 15 問中、全国と比較して正答率が上回ったのは 2 問 (1, 9 (1)) で、問題形式は「選択式」です。
- 全 15 問中、無解答率が全国を上回ったのは 10 問。そのうち問題形式の「記述式」は、すべての問題で全国を上回っていました。

正答率が最も高かった問題

問題番号: 7(1)

出題の趣旨: 必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかを見る。

(1) 優斗さんと芽依さんは、前ページの進め方では、右の図のように A と B のそれぞれの手元のカードが同じ絵のカードになる場合があることに気づきました。

A の手元のカードが 3 枚とも「グー」、B の手元のカードが 3 枚とも「チョキ」で 1 回目を行なうとき、次のことがいえます。



1 回目は必ず A が勝つから、1 回目に A が勝つ確率は である。

上の に当てはまる数を書きなさい。

正答: 1 (数学的に同値と判断できるものを含む)

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	75.8%	77.4%	-1.6
無解答率	2.9%	3.2%	-0.3

正答率が最も低かった問題

問題番号: 6(2)

出題の趣旨: 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る。

(2) 連続する 2 つの 3 の倍数の和は、9 の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する 2 つの 3 の倍数がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 n を整数として、連続する 2 つの 3 の倍数を $3n$ 、 $3n+3$ と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} 3n + (3n + 3) \\ = 3n + 3n + 3 \\ = 6n + 3 \\ = 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

結菜さんの式の変形の $3(2n + 1)$ から、「連続する 2 つの 3 の倍数の和は、3 の倍数である」ことがわかります。

太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する 2 つの 3 の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「 は である。」という形で書きなさい。

正答例: 連続する 2 つの 3 の倍数の和は、奇数である。

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	22.8%	25.7%	-2.9
無解答率	24.6%	24.9%	-0.3

【指導の改善に向けて】 式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるようにする。

- 文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導することが大切である。本設問を使って授業を行う際には、まず、連続する 2 つの 3 の倍数の和がどんな数になるかを、文字式を用いて考察する場面を設定することが大切である。具体的には、連続する 2 つの 3 の倍数を $3n$ 、 $3n + 3$ として和を計算した式である $6n + 3$ がどんな式に変形できるかを考察する場面を設定することが考えられる。例えば、 $3(2n + 1)$ と変形した式を取り上げ、 $3 \times (\text{整数})$ になっていることから「連続する 2 つの 3 の倍数の和は、3 の倍数になる」ことを捉えられるように指導することが考えられる。また、 $2(3n + 1) + 1$ と変形できることを確認した上で、この式からどんな数になるかを考察する場面を設定することも考えられる。その際、変形した式が $2 \times (\text{整数}) + 1$ となっていることから、「2 の倍数に 1 を加えた数」つまり「奇数である」という結論を見いだせるように指導することが大切である。



理科問題

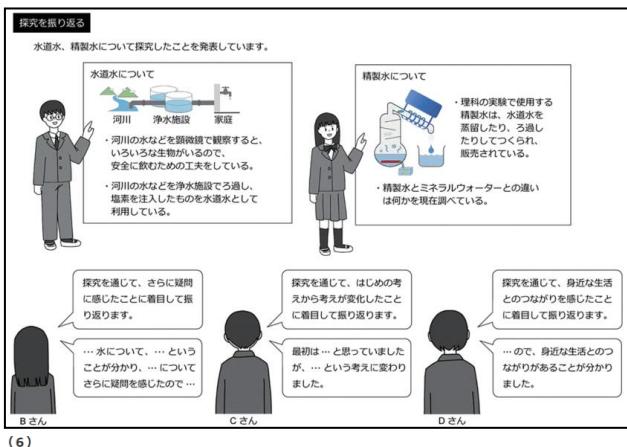
理科正答例

- 公開問題中、正答率が75%を上回ったのは3問です。
- 公開問題中、無解答率が0.0%だった問題は14問で、そのうち11問は問題形式が「選択式」でした。

正答率が最も高かった問題

問題番号: 1 (6)

出題の趣旨: 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかを見る。



正答例: 精製水は水道水を蒸留したり、ろ過したりしているということが分かり、ミネラルウォーターはどのようにして作られているのかについてさらに疑問を感じたので、調べてみたいと思いました。

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	79.3%	79.4%	-0.1
無解答率	6.5%	9.9%	-3.4

正答率が最も低かった問題

問題番号: 1 (4)

出題の趣旨: 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかを見る。



正答: 生物1～生物4全て

この問題について	綾瀬市	全国	全国との比較
正答率	29.0%	29.7%	-0.7
無解答率	0.0%	0.2%	-0.2

【指導の改善に向けて】 生命を維持する呼吸の知識をいろいろな生物に活用できるようにする。

- 観察した生物の共通点と、生命を維持する呼吸の知識とを関連付けて、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けることは大切である。

指導に当たっては、「呼吸を行う」、「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、それらの特徴からいろいろな生物について考察する学習場面を設定することが考えられる。

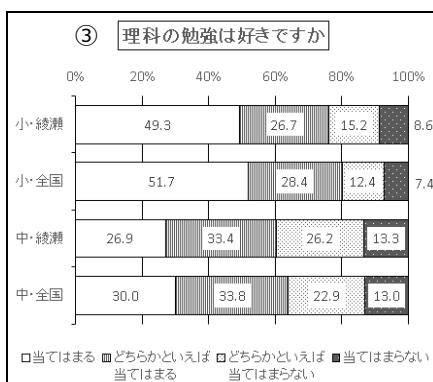
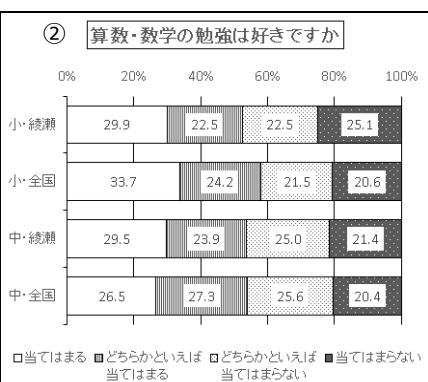
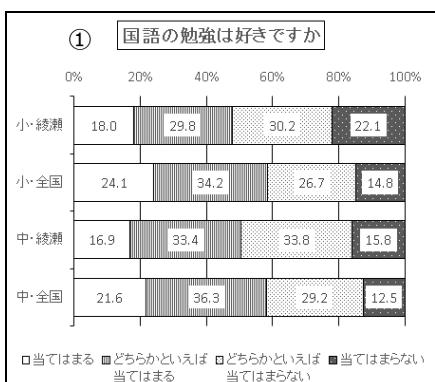
その際、直接観察することが難しい生物については、博物館等で公開している動画等を1人1台端末で視聴することも考えられる。

【児童・生徒質問調査の結果の分析】



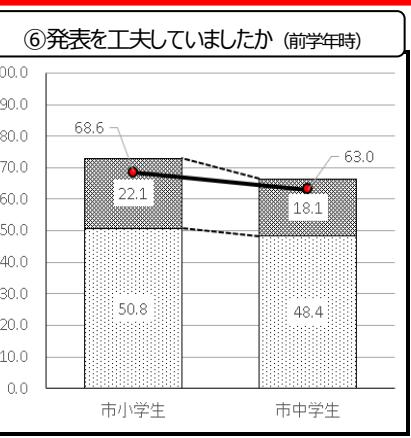
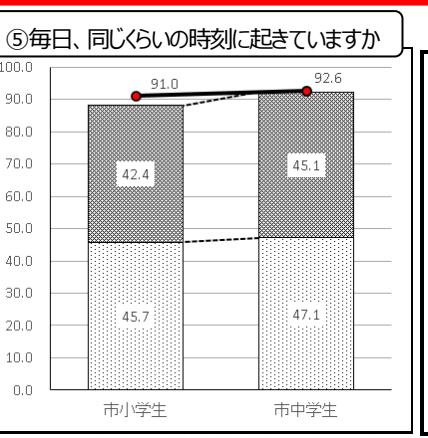
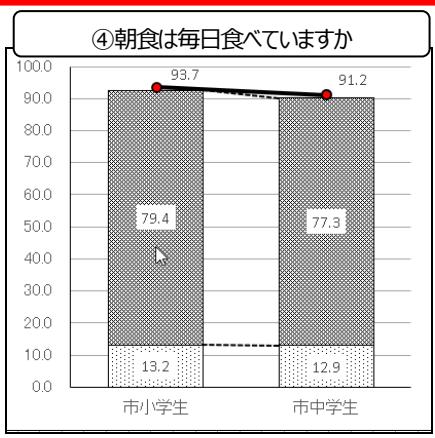
児童質問調査

生徒質問調査



○「国語、理科の勉強は好きですか」については、全国より下回る傾向にありますが、「数学」については「好き」が全国より上回っています。

○今後も引き続き、児童・生徒が「国語、理科の勉強が好き」と感じるような授業づくりに努めていきます。

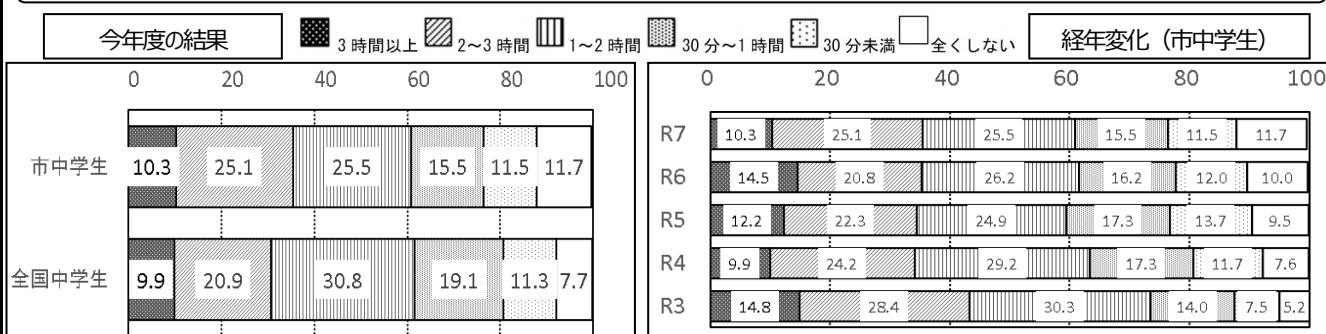


○「朝食は毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生・中学生ともに90%を超えており、定着が見られます。

○「発表を工夫していましたか (前学年時)」については、「当てはまる・やや当てはまる」の回答が小学生・中学生とも全国より高く、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表をしていることが分かります。

御家庭と協力したいこと ～家庭学習の習慣化～

普段（月曜から金曜日）の日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（生徒質問調査から）



○家庭学習の習慣化を目指していますが、全国平均と比べると、家庭学習の時間が少ないことがうかがえます。帰宅後の家庭での時間の使い方を、改めて見直してみること大切です。お子さまが自分で学習の計画を立て、自主的に学習に取り組めるよう、学校でも伝えてまいりますが、御家庭でも引き続き温かい言葉かけや励ましをお願いいたします。